

生駒駅前 にぎわいづくり ワークショップニュース

第3回

平成25年10月30日
生駒市 開発部 地域整備課
環境経済部 経済振興課

第3回目は、19人のみなさんに参加いただきました。

前回話し合ったベルステージでの活動のアイデアを、各班3つに絞り込んで、具体的に練り上げていきました。

最後に嘉名先生から、次回に向けて、話し合いの切り口が示されました。

今日の話し合いのポイント

大阪市立大学 嘉名 光市 准教授

ワークショップのコーディネーターを務めていただく嘉名光市先生から、お話しがありました。

- 今日、これまでたくさん出てきた活動のアイデアを、3くらいに絞り込んで具体化していくということ。どういうタイミングで行うのか、ターゲットは誰なのかなどを考えていきます。
- せっかく多様なアイデアが出ているので、この絞り込むアイデア3つについては、幅広い内容を選んではどうかと思います。
- 終盤では、どういう人と一緒にやるかについて話をします。みなさんの人脈を活かして、また市役所のつながりから、今後実際に声かけができるのではないのでしょうか。
- ここで、各班には市役所職員が入っていると思うので、少しだけ課題となりそうなことなどもお話してもらえると、よりリアリティのある話し合いになるでしょう。ただし、つっこみ過ぎると話が膨らまないで、少しだけにしておいてください。



グループワーク

前回の話し合いを踏まえ、ベルステージでの活動について、「誰が」「いつ」「どのように」「誰と一緒に」実施するのか、について話しました。

1班：石川さん、寺地さん、白鳥さん、片山さん 事務局:黒松、山方

前回出し合ったアイデアを振り返りながら3つのプロジェクトを考えました。音楽、市、子育て・交流をテーマにしたものですが、おおむね前回のアイデアを網羅することができました。

実現方法について考えるのはなかなか難しかったのですが、子育て・交流については自らも関わっていきたいという意見が出されました。



プロジェクト名	M ステ生駒
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽と酒（飲み物）を楽しめ、より道したいと思わせる場所にする。平日の夜などが中心。 ・市民が自由に演奏して自分をアピールできる場にする。 ・例えば週末にいつもやっているイメージ。 ・全く自由にするのではなく、ある程度ルールを決めることも必要。出演者のオーディションをしてレベルに応じた演奏時間帯の枠を設定するなど。 ・楽屋や音響設備なども考えておく必要がある。楽屋はたけまるホールが使えるかも。 ・飲み物は広場の周りや外の店で買って持ち込むか、ワゴン販売があると良い。
誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の運営は、例えば大学の関連する学部や学科（音楽、芸術、舞台、イベント企画など）に関わってもらい、教育実習的にやってもらうのはどうか。 ・市は演奏者に賞を出すとか。
プロジェクト名	ワクワク市
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市をやりたい市民が出店する。休日の昼間のイメージ。 ・手作り市（自分でつくった物を販売）、野菜市（近隣の農家の人野菜を販売）、フリーマーケット（いろんな市民）など。もったいない陶器市などすでにやっている取り組みも広場でやってもらう。 ・あるグループが定期的を開催したり、年に何度かみんなで集まって開催するなど考えられる。
誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> ・お店自体はそれぞれの出店者が運営するので、出展者の募集やスケジュール調整のみ、広場の運営をする人がやれば良い。
プロジェクト名	ワクワク広場
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを遊ばせながら、保護者が子育ての情報を交換したり発信したりできる場。平日の昼間のイメージ。 ・高齢者と子どもたちや保護者が交流できるようなプログラムもあれば良い。

誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の子育て支援団体やシニア団体が連携すればできる。 ・帝塚山大学の子ども学科など関連する大学の関わりも考えられる。
----------	--

2班：伊藤さん、杉岡さん、公門さん、阪口さん、松下さん 事務局:古里、有山

「あそこに行けば誰かいる」「老若男女が集える」状態を作り出すために、「まずは『毎朝何かしている』場所にしよう」ということになりました。曜日ごとにテーマを変え、朝の時間を利用した、ちょっとした運動や英会話などを開催します。



また、駅の周辺とベルステージをつなげるしかけとして、駅周辺のオススメの散歩道を掲載したマップを作るというプロジェクトも出てきました。

プロジェクト名	朝の時間のセミナー（早朝ラジオ体操）
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なライフスタイルの人が参加しやすいように、朝7時台と、9時台に設定。 ・軽く汗をかいた後は、お互いにコミュニケーションをとれるように、お茶でも飲むような流れをつくる。 ・楽しくやるしかけとして、「ミスラジオ体操」「ラジオ体操お兄さん」などになってもらい、盛り上げてもらう。また、継続的に参加してもらうために、毎回スタンプを押してもらって集めていく方法がある。 ・他にも、曜日ごとに英会話、太極拳やヨガクラブ、ペット自慢（集会）、あいさつ運動など、色々やれば、それごとに人のつながりができていく。
誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は人が集まる流れをつくるために、特定の人に声をかけておけばどうか（例えば市役所の人に参加してもらうとか）。

プロジェクト名	駅周辺 ステキなお庭散歩道（散歩道のマップで駅周辺の情報発信）
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の路地など、車が通らず安全に歩ける道を調べて、散歩道のマップを作る。 ・昔から大きい木や、立派なお宅、ステキな庭などの情報も載せておく。 ・駅に来た人がふらりと立ち寄ったり、毎朝ウォーキングしている人たちがコースに取り入れられたりと言う風に使ってもらう。 ・その情報発信基地&散歩・ウォーキングの起終点として、ベルステージを位置づけ、一服してもらう。
誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺に詳しい、住民や商店街の人に、おすすめの道を聞く。

前回出したキャッチフレーズ「“わたし” がつくる よりみち」をもち、活動のイメージをふくらませていきました。

活動を考える際に、「ターゲットによって広場を使う時間帯も、広場の使い道も異なるので、ターゲット別に活動を考えたかどうか」という提案があり、「通勤・通学する人（朝）」「子育て層の親とその子ども（昼）」「学生（夕方以降）」の3つでアイデアをまとめました。



プロジェクト名	朝活・三文の得
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤、通学者を対象に、朝のわずかの時間を使って、早起きが得になるような活動を行う。 <ul style="list-style-type: none"> - みんなで朝食を食べる、スーパーを楽しむ。 - 英会話のワンポイントレッスンを受ける。 - 健康づくりのラジオ体操、太極拳を楽しむ。
誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> ・英会話などは教室のPR・営業も兼ねて行ってもらう。 ・健康づくりの活動などは「この指止まれ方式」でやりたい人・団体を募集する。
プロジェクト名	親が行きたい・子どもも遊べる広場
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・主婦、子育て中の女性とその子どもを対象に、昼の時間を過ごしてもらう活動を考える。 ・概ね、15時までの幼稚園のお迎え前くらいまでの時間帯。 ・子どもが遊べるようなものを常設しておく（例：パンダの乗り物、貸し出しの将棋盤、絵本など）。 ・子どもや親が集う・楽しめる催しを開催する（例：トレイン乗車、スイーツ販売、ランチ、ヨガ無料体験）。 ・安全性の確保や、音への配慮は必要。
誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサークル、公民館活動、生涯学習グループ、ヨガ教室などのインストラクターに声をかけ、活動してもらう（運営側からしかける）。 ・ある程度定着すると、勝手に集まってくれるようになるのでは。 ・バトンタッチリレー形式もおもしろい（次の団体を紹介してもらう）。
プロジェクト名	学生のちょっと寄り道
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅途中の学生が夕方から夜にちょっとだけ立ち寄るような催しを企画する。 <ul style="list-style-type: none"> - ビアホール、ビアガーデンを開催する。 - プロジェクターで映画鑑賞会を行う。 - 路上アコースティックライブ、生演奏を行う（土日はイベント的に開催する）。

	<ul style="list-style-type: none"> - 季節の催しを行う（持ち寄り型七夕飾り、ツリー飾り）。 • 広場がにぎやかな感じであればちょっと寄ってみたいくなる（BGMが常に流れている、など）。 • 曜日と時間帯などのルールが必要。
誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> • 商店街、地元や周辺で活動するミュージシャン、大学のサークルなど。

4班：稲森さん、井勝さん、高橋さん、高原さん、井上さん 事務局:稲葉、辻

前回、「毎週のように色々なイベントが多様に行われているような場所」などといったベルステージの目標像を実現するようなプロジェクトについて、これまでの意見交換などをもとにアイデアを出しあいました。



プロジェクト名	商店街のイベントとの連携
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> • 現在、100 円商店街、まちゼミ、いまこいバルといった取り組みを商店街を中心に行っている。 • それらの取り組みの会場として使うことができれば。 • 例えば、100 円商店街の時であれば、他地区から来られた方々との意見交換などのフォーラムの会場として、まちゼミの場合は、店舗でやるには手狭なお店のまちゼミの会場として、バルの場合は、本部やチケット販売の場所として活用してはどうか。 • その他には、同日開催で連携イベントの会場として（例えば、他団体が行うイベントの時に、商店街の飲食店がブースを出すなど）、または、食のイベントを街全体で行うときのふるまい（ビール会社との連携など）イベントなど、色々なところと連携などしながらできる場として使えたら。 • 物産イベント的に、商店街のお店が試験販売などをしたりする場としても使えるのでは。 • テント（大きめのもの）、机、イス、音響設備は必要。 • 100 円商店街は年 4 回（1、4、7、10 月）、まちゼミといまこいバルは年 2 回。
誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> • 今やっているイベントについては、枠を広げたとしてもできると思う。（自治会や大学、商業施設等と連携して実施している） • ビールの振る舞いなどは、ビール会社では。 • イベントと直接関係ない違う業種の人たちに声を掛けて連携できるか検討。 • イベント間の調整役は必要。

プロジェクト名	キッズフェスティバル
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> • 日常の使われ方として、お母さん方が集うような場所になったら。 • 子育て相談や子どもを遊ばせておける遊具（ボールプールや小さな汽車など）、紙芝居や人形劇の上演や子ども向けの安全安心についての講習会などが日替わりで行われているような状態。 • どんどこまつりの際に、紙芝居の上演が人気だった。 • 最初は、土日の 1 日に集中させて、イベント的にやって、場所や取り組みについての認知を高めるのも良いかもしれない。 • 環境や子ども向けのフリーマーケットなどの実施。 • 図書館が入るということで、子ども向けにも古本位置や図書館を巻き込んだ本のフリーマーケットなども良いのでは。 • 周辺地区も含め、ゆるキャラが多いので、ゆるキャライベントも実施。
誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て支援については、ミキランドがやっている。その屋外版的なことができれば。 • 図書館イベントは、図書館と連携。 • 紙芝居は、古本屋（ひだまり）さんがつながりをもっている。どんどこ祭りの時は、社会福祉法人のモエさんが担当されていた。 • 大学も帝塚山大学（子ども学科）や奈良女子大（子ども臨床学科）などに子ども関連の学科がある。 • 環境系フリーマーケットは、エコネットに声を掛ければできるのでは。
プロジェクト名	学フェス
プロジェクトの概要	<ul style="list-style-type: none"> • 年に 1、2 回、学生が主催するイベントとして、大学対抗や大学間の交流ができるようなイベントができれば。 • 勝敗がつくイベントは、盛り上がりそう。 • 音楽イベントとして、各大学の軽音楽サークルなどが演奏したりする。近隣の状況によっては、アコースティックやアカペラ限定にするなども要検討。 • 専門書の古本市。価格の高い専門書を手に入れる場として。 • 学生が出店するようなフリーマーケット。専門書だけでなく、自分が出展したものを商品として出す。 • 大学の垣根を越えたミスコンテスト。（大学単位だと人が集まらない大学もあるので） • 綱引きなどでの対抗戦も面白いのでは。
誰と一緒にやるか	<ul style="list-style-type: none"> • 各大学の学祭実行委員会に声を掛けてみる。 • 学祭の実行委員会は、年 1 回のために年中忙しそうにも見える。 • 各イベントの出場者などは、各大学の部活やサークルなどにも声 k を書けてはどうか。 • 奈良女子大では、掲示板に「教科書いりませんか?」という告知がある。その中で、生駒駅前で行います、という告知チラシをはる。 • まずは別のイベントに学生ブースとして出展する。生駒でも既存のイ

ベントとして、フリーマーケットをされていたりする。そこに声を掛けて生駒駅前でもやってもらう。

- 生駒の古本屋さんに声を掛けて一緒に古本市を行う。
- 東生駒で綱引き大会をやっている。

発表

各班の参加者から、どのような話し合いになったかを発表してもらいました。



全体でのまとめ

本日の各班の話し合いの結果について、嘉名先生からまとめがありました。また、今後話し合いを進めていくための、視点が4つ示されました。

- 今日のアイデアは、それぞれ多様で、ぜひベルステージで実現させてほしいと思います。みなさんも「いつ行っても何かやっている広場」にしたいということなので、実現に向けて話し合っていきましょう。
- そのための視点として「①プログラム」「②備品・設備」「③ビジネスモデル」「④人脈・ネットワーク」の4つがあると思います。行政側も検討をお願いしたいのですが、継続して運営していくためには、誰かに負担がかかりすぎてもいけないですし、お金も行政頼みでは厳しい面があるので、色々と工夫が必要です。

おわりに

より充実した話し合いをしていくために、今日出た話しの流れで「この人と一緒にやってみたい」と思う人がいれば、声をかけてほしいという呼びかけがありました。

次回の開催は、11月16日(土)10時からです。

●事務局・問い合わせ先

生駒市 開発部地域整備課

〒630-0288 生駒市東新町8番38号

Tel: 0743-74-1111 Fax: 0743-74-1221